

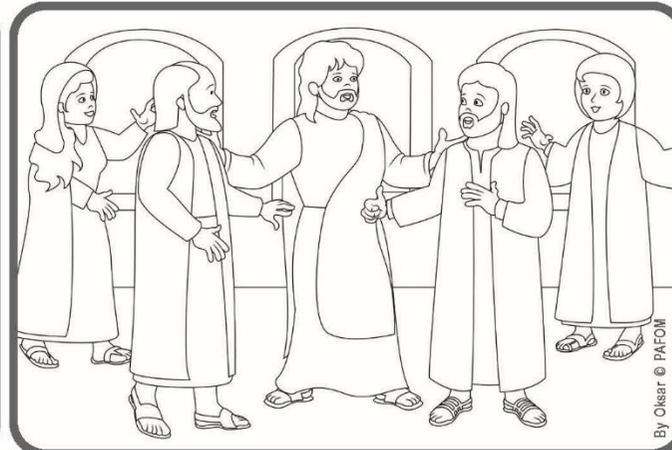
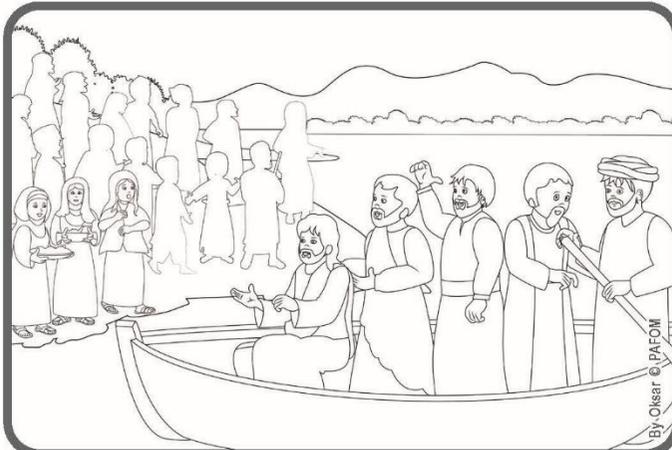
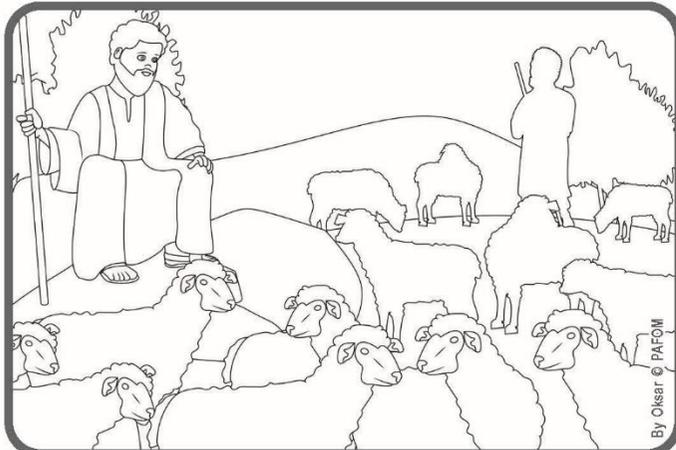
# ちかくのひとをたいせつにしよう。



フオコラーレ  
focolare.org/japan

しゅはわたしのぼくしゃ、わたしはとぼしいことがない。

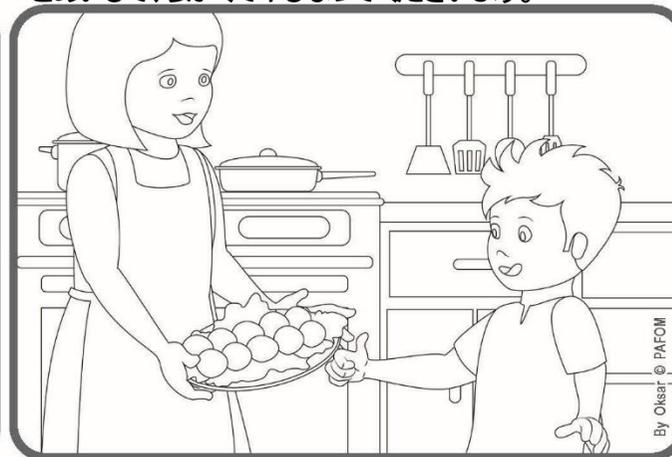
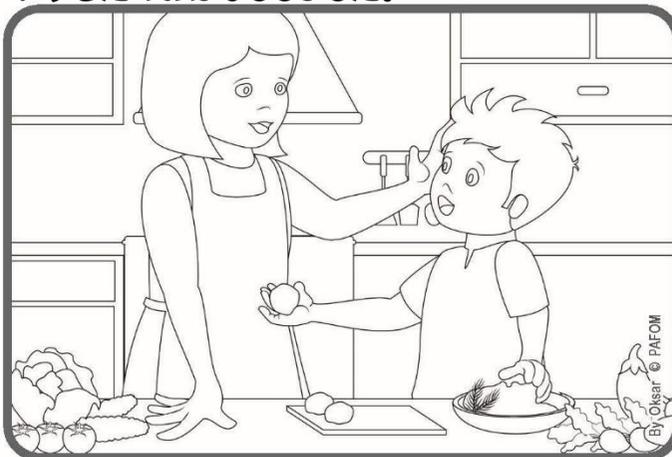
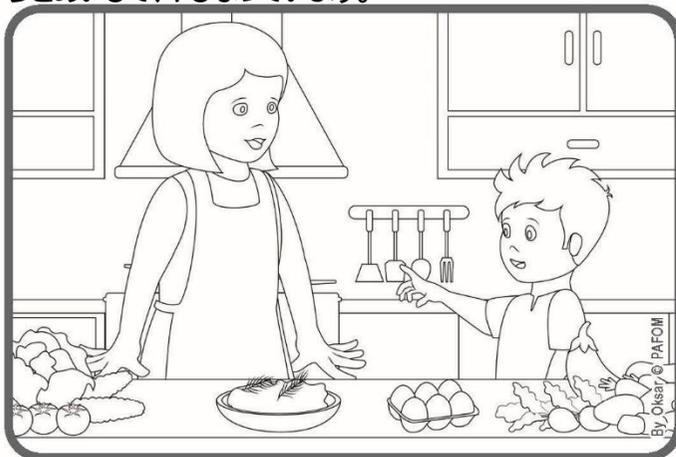
(しへん 23・1)



ひつじかいのもとでたうさんのひつじが、あんしんしてくさをたべています。ひつじかいとは、おくのいしにすわって、オオカミがおそってこないか、みまもっています。じぶんのひつじたちをあんして、やしなっています。

イエスさまは、あるひ、みながつかれていますのを見て、ふねにのせてやすみにいきました。でも、そこにつくと、たくさんのひとたちがまっていたので、あいするためおはなしました。

こイエスさまはいつもちかくにいってください、わたしたちのことをきにかけてください。わたしたちがみちこまようこと、ひとりぼつとかんじることをのぞまれせん。わたしたちをあんして、ちかくでやしなってください。



おやすみのひに、おかあさんはおりょうりをしなればなりません、ちよつとつかれていました。わたしにたてだつてといひました。わたしは「いいよ」といひて、ハンバークをてつだひました。

おかあさんがおしえてくれたことを、はじめました。それをゆうかたつくり、おいしいゆうしょくができました。

おかあさんはとてもよろこんで、もうつかれてないやうでした。こんどいっしょにつくるときも、おかあさんは、ざいりょうをまぜるのが、にがてなので、つかれさせないやうにしようとおもひました。(オランダのダミオン)